

薬剤の患者負担増中止を求めます

政府は、2024年10月より、後発医薬品のある先発医薬品（長期収載医薬品）を使用した場合に、現在の窓口負担とは別に、後発医薬品との差額分に患者負担を導入することを決定しました。先発医薬品使用をアメニティと位置づけ、「差額ベッド」と同様に現行の選定療養制度を使って差額分を患者から徴収するもので、事実上の後発医薬品の使用強制です。実質「医薬品の保険外し」につながり、国民皆保険制度を根幹からゆるがす暴挙です。

■医薬品供給不安定の中での差額徴収は言語道断／医師の処方権を尊重すべき

医薬品の供給不安定が長期化し、先発医薬品も含めて選択せざるを得ない状況が一向に改善しない中、さらに患者負担を強いる差額徴収は言語道断です。

政府はこの薬剤患者負担増の直接的な理由を「創薬力強化」と説明しています。しかし、新薬開発のために患者に負担を求めて財源とするのは道理がありません。必要な処方を判断する医師の裁量（処方権）を尊重し制度実施を中止するとともに、医薬品の安定供給に注力すべきです。

■以下の要請署名への賛同を集め国に提出します。ご協力下さい。

■取り組み期間は、3月11日（月）まで。

内閣総理大臣殿／厚生労働大臣殿／財務大臣殿／国会議員各位

神奈川県保険医協会
理事長 田辺 由紀夫

薬剤の患者負担増中止を求める医師・歯科医師緊急署名

— 後発医薬品のある先発医薬品（長期収載医薬品）処方時に患者から差額を徴収する仕組み導入について、中止を求めます

私のひとこと

住所：

医療機関名：

氏名：

※ゴム印でも
結構です。